

盛岡地本第35回定期大会開催!



大会スローガン

1. 組合員の雇用と利益を守るJR東労組をつくり出すため、「抵抗とヒューマニズム」を基軸に、「新生JR東労組運動宣言」のもと、職場における自由闊達な議論と合意形成を通じて、組織拡大を勝ち取り、組織の未来を切り拓こう!!



万全のコロナ感染対策を行い開催しました。



本部からは、新しく執行副委員長になった佐藤申也さん(盛岡地本退出)が挨拶しました。



議長を担った金澤代議員(左/戸支部)と四戸代議員(右盛岡支部)



盛岡地本のジョブのたたかいに対し、多くの機関から撤が届け、会場に掲載しました。

7月4日盛岡市「ホテル大観」において第35回定期大会が開催されました。マスクや消毒液など、新型コロナウイルス感染対策を十分に行った中で行い、スローガンを含むすべての方針が満場一致で可決しました。

佐々木委員長からは「職場において新型コロナウイルス感染への恐怖と不安の中、公共交通の使命を果たすため尽力している事に感謝申し上げます」「夏季手当は、要求と乖離した回答であった為、緊急に全地本委員長会議を開催し、目の前に迫っている組合員の生活を守る事を第一に妥結の判断をした。コロナ禍の中、鉄道輸送を担ってきた評価が低すぎるとの怒りの声が多い。手当や防止策を含めた要求を職場の声を基にして創り上げていく」「残念ながら『新たなジョブローテーション施策』は実施場面において、団体交渉で確認された社員の納得感づくりとは、かけ離れた現実が明らかになりました。コミュニケーションのあり方含めて会社の課題については、今後も継続して議論していく」「組織拡大や社員代表選など、2月に確立した『新生JR東労組運動宣言』に基づき、この間のたたかいを創り出してきた。そのたたかいの正しさを確認し合おう」など挨拶がされました。

また16名の代議員から発言があり、職場で実践してきた「新生JR東労組運動」の教訓が語られました。組合員に寄り添い、共に将来を考え、全組合員参加にこだわった運動を創り出していくことを確認しました。